

郷中だより

令和3年4月15日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第2号

ようこそ郷内中に！

4月13日に保護者の皆様と教職員に見守られ、66名の新生が入学しました。力強さの中に温かさのある在校生代表の歓迎のことばと、中学校生活への力強い意欲を感じる新入生代表の誓いのことばで、これからの生活がとても楽しみになりました。木村裕清さん、白川いちごさん、ありがとう。



入学式当日の学活では、担任の先生から式の流れと入退場の仕方を教わり、呼名や礼の練習をしました。式では全員の背筋が伸び、皆さんのやる気が伝わってきて、とてもうれしかったです。



【歓迎のことば（抜粋）】

（前略）

ここまで「生徒」という言葉を何度も使ってきました。中学校では、「先生主導」ではなく、「生徒主体」なのです。自分たちで決めて、自分たちで集団を動かす場面が増える、つまり、自由が増えるのです。しかし、ここで重要なのが、「責任は自由に比例する」ということです。自由にできることが増えるほど、責任も重くなるというわけです。自分だけでなく周りにも気遣い、「大丈夫」と確信してから行動に移すことが大切です。

最後になりましたが、郷内中学校の生徒になったことに誇りをもち、これから共に成長していけることを願い、お祝いの言葉とさせていただきます。

入学2日目の様子

今日から朝読書が始まりました。時間を守り用意してきた本に集中していました。教室はとても落ち着いた空間でした。



朝の会では、郷内中学校で行っている「先言後礼」の説明があり、練習をしました。慣れていくと2、3年生のように、みんなの気持ちがそろってきますよ。積み重ねですね！

おはようございます。
今日から中学校生活が始まりますね。
先生もみなさんも分からない事が
たくさんあるので、1つ1つ覚えていきましょう！！

先言後礼

そして今日は

全校生徒の身体計測がありました。どの学年も、わからないことを尋ねる時以外は無言で整列したり移動したりしたので、順調に終わることができました。



保護者の皆様へ

郷内中学校3年目になります校長の福添です。今年度も「郷中だより」で、保護者の皆様や地域の皆様に郷内中学校の様子や、地域の宝である子どもたちの活躍を知っていただき、ご理解とご協力を賜りたいと思っております。

たった3年間のかけがえのない中学生時代にしか経験できない感動や出会いを通して、大きく成長してほしいと願い、「生徒が主役の学校」を目指します。木村裕清さんの歓迎のことばにもありますが、「先生主導」ではなく、生徒たちが気づき、考えていく場面を多く設定し、教職員が団結して指導や支援にあたりたいと思います。本年度もたいへんお世話になります。どうぞよろしくお願いたします。